

地球共創大学院大学の学問体系 (設置構想中)

地球共創学 Gaiaable Co-creation Studies

地球環境×地域創生×事業創造

■ 3つの学問領域に基づく5つのアプローチ

- ①持続可能な「まちづくり」のデザインの実践
- ②「農と食」の視点から新たな地球共創産業を創出
- ③「森」の視点から生活様式や地域の産業を変革
- ④持続可能な経営を実践する「経営者や起業家」の育成
- ⑤持続可能な「プロジェクトマネジメント」の専門家の育成

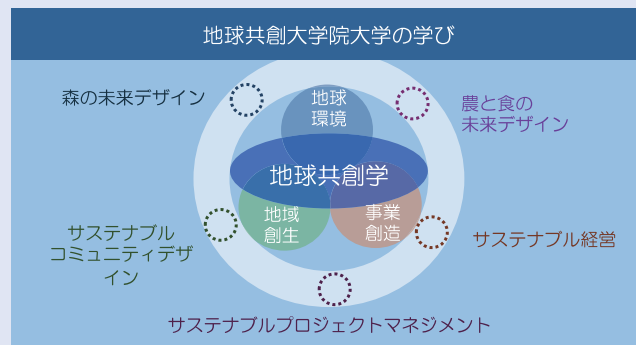
■ 教育改革と地域創生の同時実現へ

大学院・大学・高校・
小中学校が融合した
地域循環教育

地域課題を解決する
リエゾン型キャンパス
の展開

産学官連携による
地域循環教育と
地域循環産業の
実現を目指します

※リエゾン：地域・団体・企業
との連携・橋渡し・つなぎ役



■ 志に合わせた5つの専門コースを設置予定

- ・ **持続可能なコミュニティデザイン**
持続可能なまちづくりを牽引するリーダーを育成
- ・ **農と食の未来デザイン**
地域資源を最大化し、次世代の食農産業を構想
- ・ **森の未来デザイン**
森林との共創を通じ、環境意識と行動変革を推進
- ・ **持続可能な経営**
起業家マインドと環境意識を兼ね備えた経営者を育成
- ・ **持続可能なプロジェクトマネジメント**
複雑な地球規模の課題を科学的に管理・完遂するプロを育成



一般社団法人
地球共創学園設立準備会
代表理事 風見 正三

地球的な視座を持ち、持続可能な地域を創造していく「知の拠点」としての高等教育機関の創設を目指します

現在、我が国では、地球環境問題への解決やSDGsの達成とともに、真の地方創生を実現するためのさまざまな施策が展開され、そのための実践的な地域人材の育成が急務となっています。こうした社会課題を解決するために、白石蔵王地区のポテンシャルを最大限に活用しながら、持続可能な社会を担う実践的な人材を育成する高等教育機関の創設を進めることになりました。

本大学院は、これらの地球的な課題に向き合い、地域的な行動によって解決していく「地球人 (Gaiaable Humans)」の育成を目指すとともに、研究成果と専門人材を地域社会に実装していくための戦略的なプラットフォームの構築を目指します。

白石市を拠点に、東北や全国から志の高い同志が集結し、産官学民の連携により、東北から世界を変えていく挑戦を進めてまいります。



一般社団法人
地球共創学園設立準備会
理事 西辻 一真

持続可能な地域のかたちを皆さまで一緒に育てていきます

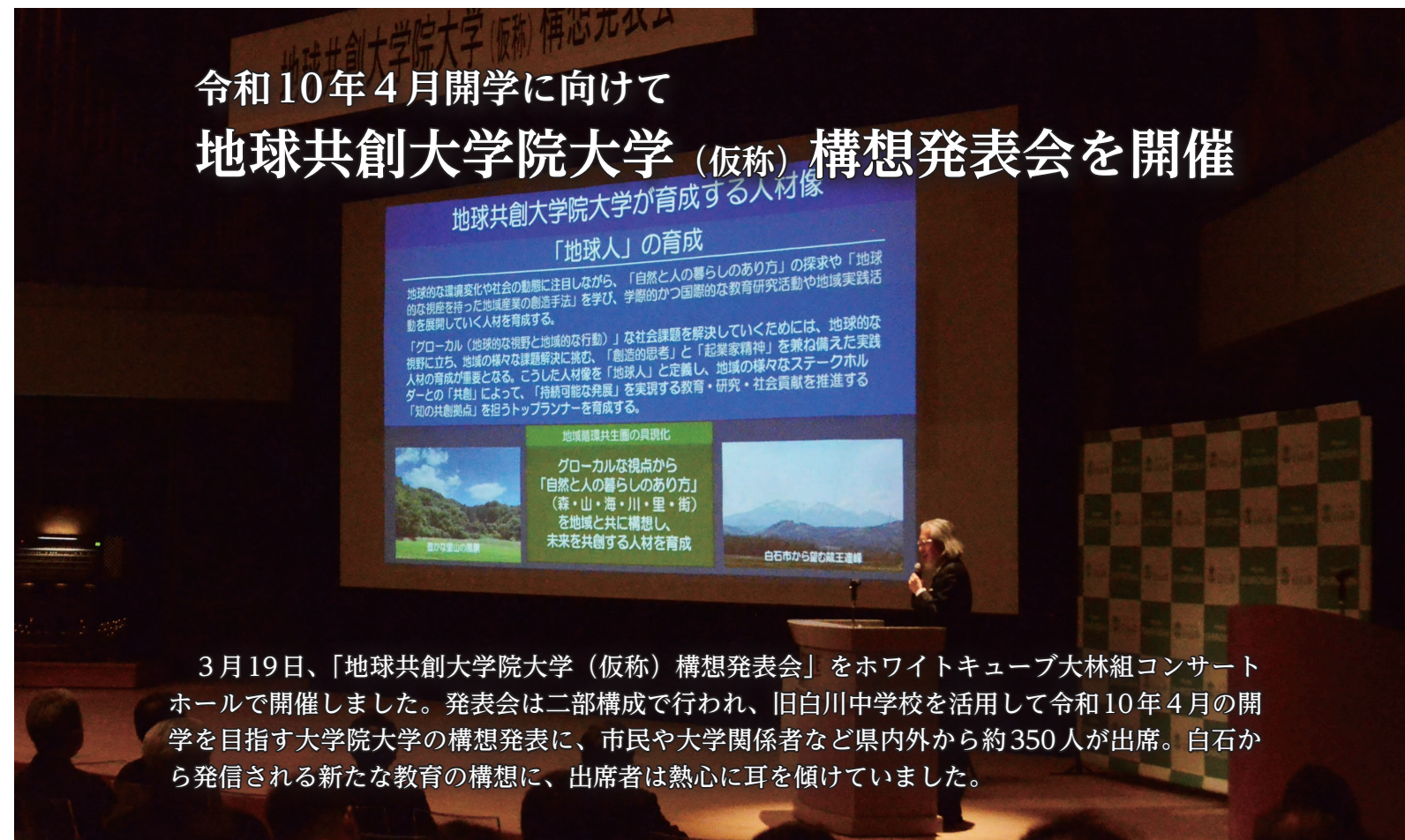
私たちがこの学びの場を白石に描くのは、特別な誰かのためだけではなく、ここで暮らす一人ひとりの「明日」が少しでも温かく、誇らしくなる未来をつくりたいからです。地域で積み重ねてきた知恵や仕事、家族を想う気持ちに、世界の視点と学びの力を重ね、持続可能な地域のかたちを皆さまで一緒に育てていきます。

どうかこの挑戦を、隣人として、仲間として見守り、支えてください。皆さまの存在が私たちの勇気になります。

大学院大学に関する最新の情報は、一般社団法人地球共創学園設立準備会のホームページをご覧ください。
○公式サイト <https://gcu.jp/>



☎大学院大学設置支援室 ☎22-1324

令和10年4月開学に向けて
地球共創大学院大学 (仮称) 構想発表会を開催

3月19日、「地球共創大学院大学 (仮称) 構想発表会」をホワイトキューブ大林組コンサートホールで開催しました。発表会は二部構成で行われ、旧白川中学校を活用して令和10年4月の開学を目指す大学院大学の構想発表に、市民や大学関係者など県内外から約350人が出席。白石から発信される新たな教育の構想に、出席者は熱心に耳を傾けていました。

▲大学院大学の構想を発表する風見代表理事



▲協定書を手に連携を誓う (左から) 朝倉会頭、風見代表理事、山田市長

産学官連携による共創に向けて
白石商工会議所と三者連携協定
構想発表会の第一部では、準備法人である一般社団法人地球共創学園設立準備会 (風見正三代表理事) と白石商工会議所 (朝倉秀雄会頭)、白石市の三者による「大学院大学設置・運営、教育振興および地方創生に関する連携協定締結式」を執り行いました。
本協定は、本市への大学院大学設置を通じて、三者が連携し、幼保・小中高との連携による教育振興や市内事業者との連携による産業振興、人材育成などを図っていくことを目的に締結したものです。
締結式で風見代表理事は「本日は新しい未来のスタートライン。この大きなチャレンジを皆さまで実現していく」と抱負を述べ、朝倉会頭は「教育や産業の振興、移住定住の促進など、

さらなる発展に向け支援協力したい」と山田市長は「三者が強固なスクラムを組み、本市の教育振興と地方創生に取り組みたい」とあいさつしました。
地球環境×地域創生×事業創造
第二部では、学長・理事長予定の風見代表理事が、大学院大学の構想に関する講演を行いました。
風見代表理事は、「大学院大学は産官学民の連携による地球と地域の共創拠点。気候変動など地球規模への対応と社会貢献の役割を担い、『地球人』の育成を行う」とし、地球環境・地域創生・事業創造の3領域を統合した「地球共創学」を提唱。地域課題の解決と新たな価値を生み出す研究と実践を行い、地域循環の教育・産業を創出していくと発表しました。
最後に、副理事長予定の西辻一真理事が「過去と地球を学び、持続可能な未来を創っていききたい」と閉会のあいさつを行い、構想発表会を終えました。
準備法人では、本年10月の文部科学省への設置認可申請に向け、校舎改修やカリキュラム策定、地域との連携事業などを進める予定です。